

日越大学間交流の状況【北部】

番号	大学名 (所在地)	ベトナム拠点名 (設置年月、所在地)	相手機関	協定の 有無	分野名	連携・協力等の 内容	実績と今後の予定等	関連HP、参考資料等	備考
1	筑波大学 (茨城県つくば市)	ベトナム国家大学ハノイ 校日越大学 (2016年9月)	ベトナム国家大学ハノイ 校日越大学	○	公共政策	その他	2016年9月開学の日越大学で、修士課程公共政策プログラムの幹事大学として、協力大学と共に同プログラムを運営している。	http://viu.vnu.edu.vn/	
2	千葉工業大学 (千葉県習志野市)	—	ハノイ国家大学工科大学	○	工学	・教職員交流 ・学生交流 ・共同プログラム	<u>1. ロボット教育プログラムの導入</u> ・2018年度～2019年(EDU-Port公認プロジェクト) ハノイ国家大学工科大学ロボット工学科の開設にあたって、本学は2017年に締結した連携協定に基づき、学部教育におけるロボット教育プログラムのノウハウを提供している。協力分野はカリキュラムなどの教育コンテンツの提供、職員研修など多岐にわたる。 また、本学からハノイ国家大学工科大学へ教員を派遣し、全学生が受講する必修科目扱いの集中講義を実施。セミナーも開催し、同国の高校生やプログラムを受講している学生、ハノイ国家大学工科大学の教員等134名の参加者を得た。さらに事業評価会議を開催し、カリキュラムの適切性や難易度など多岐にわたり協議し、改善につなげている。 教員交流として、ハノイ国家大学工科大学から教員3名を本学へ招聘し、教員研修と施設の視察を実施した。 その他には、ハノイ国家大学工科大学が研究・実習のためのラボを構築するための支援、ハノイ国家大学工科大学の教員のためのロボット開発支援を実施した。 ・2020年度～2022年度 2020年度および2021年度においても、ハノイ国家大学工科大学ロボット工学科の授業支援を継続して行ったが、新型コロナウイルスの影響により本学教員による集中講義はオンラインで実施した。 2022年度は、ハノイ国家大学工科大学ロボット工学科が完成年度を迎えるため、ロボット工学専攻(修士課程)を開設することから、本学は継続して協力するため連携協定を更新した。大学院教育における研究指導のノウハウを提供するため、ハノイ国家大学工科大学から教員3名を本学へ招聘し、教員研修を実施した。今後も学年進行に伴い、修士課程2年次の研究指導支援を継続していく予定。 <u>2. 3カ国学生合同授業・ロボティクスチャレンジ</u> ロボティクスチャレンジと題し、2017年度から3年連続で、国立研究開発法人科学技術振興機構の「さくらサイエンスプラン」支援事業に採択されている。毎年8月に1週間程度の日程でハノイ国家大学工科大学の学生10名と国立台北科学技術大学の学生10名を招聘し、本学未来ロボティクス学科の教員及び未来ロボット技術研究センター研究員によるロボットの講義、また、1チーム6名(本学2名、ハノイ国家大学工科大学2名、国立台北科学技術大学2名)で混合チームを形成し、合計5チームが未来ロボティクス学科実験室において、チーム毎にサッカーロボットの製作・発表及びロボットサッカー競技を行っている。また、国籍の異なる学生同士が、英語を共通言語として同じ目的に向かって切磋琢磨し、コンセプトの立案からロボット製作、そして競技会まで一連の過程を通して科学技術にとどまらず、異文化交流を図っている。 なお、新型コロナの影響により2020年度と2021年度は中止を余儀なくされたが、2022年においては、ハノイ国家大学工科大学から9名を招聘し、本学の学生7名と2カ国の混合チームを編成して、本プログラムを実施した。これまで(2017年度～2022年度)の参加学生数は、ハノイ国家大学工科大学から39名、国立台北科学技術大学から30名、本学から38名、合計117名の学生が参加している。	https://www.it-chiba.ac.jp/	【別添1】
		—	貿易大学	○	経営工学	・教職員交流 ・学生交流 ・共同プログラム	2022年11月に大学間交流協定を締結し、貿易大学が新設する「デジタルビジネス分野」の学士課程プログラムの開講科目のうち、プロジェクトマネジメントを学ぶ授業への連携支援を予定している。	https://www.it-chiba.ac.jp/	

日越大学間交流の状況【北部】

番号	大学名 (所在地)	ベトナム拠点名 (設置年月、所在地)	相手機関	協定の 有無	分野名	連携・協力等の 内容	実績と今後の予定等	関連HP、参考資料等	備考
3	東京農工大学 (東京都府中市)		ハノイ科学技術大学	○	工学	共同研究、学生交流、教職員交流	2011年に、学術交流協定を締結した。以降、共同研究や学生・教職員の受入・派遣を通じて交流を行っている。	https://www.tuat.ac.jp/	
			ベトナム林業大学	○	農学	共同研究、学生交流、教職員交流	2014年に、学術交流協定を締結した。以降、共同研究や学生・教職員の受入・派遣を通じて交流を行っている。		
			ベトナム国立農業大学	○	農学	共同研究、学生交流、教職員交流	2015年に、学術交流協定を締結した。以降、共同研究や学生・教職員の受入・派遣を通じて交流を行っている。		
4	政策研究大学院大学 (GRIPS) (東京都港区)		・ベトナム共産党中央組織委員会(CCOP) ・ベトナム内務省		公共政策	短期研修・中期研修	共産党幹部、地方省幹部、政府機関の職員を対象にノンディグリープログラムとして短期及び中期研修を実施。2019年からは、ベトナム共産党中央組織委員会(CCOP)を相手機関としたJICA技術協力プログラム「ベトナム戦略的幹部研修」事業を実施している。		
5	電気通信大学 (東京都調布市)	—	レクイドン技術大学	○	工学	学生交流 研究交流 共同研究	2016年に大学間の包括協定を締結し、同年、レクイドン技術大学と共催で、第2回「UEC Seminar in Vietnam」を開催した。2019年及び2022年に同大学において、「The 5th UEC Seminar in ASEAN, 2019」と「The 9th UEC Seminar in ASEAN, 2022」を開催した。このシンポジウムは、毎年ASEAN地域で開催し、協定校、政府機関等から多数の研究者・教職員等が参加しており、今後も継続して開催する予定である。2016年以降研究者及び学生の交換訪問等による共同研究実績がある。2021年に協定更新を行い、JUSSTIによる学生の受け入れが可能になった。今後活発な研究交流が期待できる。		
		—	ベトナム国家大学ハノイ工科大学	○	医工学	共同研究	2019年からハノイ工科大学と医工連携の生体信号処理に関する共同研究を始め、医療用レーダに特化した信号処理法を確立させ、その成果を同分野のトップジャーナルBiomedical Signal Processing and Controlに共同で発表した。今後は、特に研究成果の社会実装の実現のため、国際産学連携プロジェクトの推進を強化する。	https://www.sciencedirect.com/science/article/abs/pii/S1746809420304699	
		—	ハノイ工科大学	○	工学 教育協業	2018年に交流協定を締結し、教育協業、技術講演を実施している。	共同研究 HanoiUs Global Alliance LabのメンバーとしてMoU締結、Biomedical Engineering 分野で共著論文5件ほど 研究者交換 2020年 教育協業MoU締結 学会協業等 UEC Seminar, ICCE等	http://www.uarc.uec.ac.jp/uec_seminar_8/index.html	
			ベトナム政府情報セキュリティ委員会	○	工学 教育協業	2018年に交流協定を締結し、多数の派遣留学生を受け入れている。	8名の派遣留学生を電通大の大学院に受け入れ VGISCIにて、IoT,VLSI Designの講習実施	http://www.uarc.uec.ac.jp/uec_seminar_8/index.html	

日越大学間交流の状況【北部】

番号	大学名 (所在地)	ベトナム拠点名 (設置年月、所在地)	相手機関	協定の 有無	分野名	連携・協力等の 内容	実績と今後の予定等	関連HP、参考資料等	備考
			ハノイ医科大学	○	医工学	共同研究	2017.8から感染症の疑いのある患者用の診断システムの一環として、デング熱の患者を対象とし、本学はシステムを、ハノイ医科大学病院(国立熱帯病病院)は臨床研究を担当として共同研究を行っている。その実績として、感染症臨床分野のIFが19のトップジャーナルに研究成果を公表した。	https://link.springer.com/article/10.1186/s13054-020-03132-w	
			FPT大学	○	国際インター ンシップ	本学の学生による ベトナムでの国際イ ンターンシップの実 施	新型コロナウイルス感染症の時期にも協力を実施しており、今後も協力関係を維持する 予定。	https://www.uec.ac.jp/career/career/internship.html	
6	法政大学		共催大学(ハノイ国家大 学外国語大学)	○	日本語	ベトナム全土において 日本語スピーチコンテ ストを実施している。 (法政大学主催、ハノ イ国家大学外国語大 学共催)	2016年よりこれまで8回開催している。最新の第8回は2022年11月26日に開催した。	https://www.facebook.com/hosei.speech.contest/ https://www.hosei.ac.jp/ https://vnu.edu.vn/home/	
			日越大学	○	その他	連携校	2021年より日越大学連携校として連携校連絡会に参加している。	https://vju.ac.vn/	
7	横浜国立大学 (神奈川県横浜市)		ハノイ大学	○	医療・介護 経済	・教職員の交流 ・学術資料及び情 報の交換 ・学生の交流 ・国際研究及び教 育活動への協力 ・その他	2023年2月に横浜市立大学大学院国際マネジメント研究科とハノイ大学が協定を締結。 学術研究、教育等において積極的に相互協力を実施し、定期的に交流する。 ・学生間の現地交流(学生がハノイ大学を訪問) ・ベトナムの医療機関、介護施設の見学 ・大学生の健康に関する合同調査実施及び成果発表会の実施 ・教員間による共同研究	https://www.yokohama-cu.ac.jp/news/2022/20230314hanoiuniv.html	
8	関東学院大学 (神奈川県横浜市)		ベトナム国家大学ハノイ 工科大学	○	土木工学	共同プログラム	協定校であるベトナム国家大学ハノイ工科大学の土木工学科を支援。カリキュラムの整備、土木工学分野の教員養成、実験・実習体制の整備に協力し、建設業の技術力向上と、技術を支える人材の育成を行う。		
			ハノイ貿易大学	○	経営学	共同プログラム	2017年にハノイ貿易大学ならびにベトナム日本人材協力センター(VJCC)(現:ベトナム日本人材開発インスティテュート(VJCC))が開設した日本式の経営を学ぶ「日本式国際ビジネス学士課程」に2017年より連携協力している。現在は科目への講師派遣、現地日系企業と連携した教育プログラムの提供を通じ、日越の経済発展に寄与する人材育成を目指している。		

日越大学間交流の状況【北部】

番号	大学名 (所在地)	ベトナム拠点名 (設置年月、所在地)	相手機関	協定の 有無	分野名	連携・協力等の内 容	実績と今後の予定等	関連HP、参考資料等	備考
9	名古屋大学 (愛知県名古屋市)	日本法教育研究セン ター (2007年9月)	ハノイ法科大学	○	法学	共同プログラム	1999年学術交流協定締結後、研究交流・学生交流などを実施。2007年9月、日本語による日本法教育を実施するために、ハノイ法科大学と共同で日本法教育研究センターを設置。ベトナムの法改革を担う人材、日越両国の架け橋となる人材を育成。これまで122名の修了生を輩出。	http://cale.law.nagoya-u.ac.jp/	
10	岐阜大学 (岐阜県岐阜市)	—	ハノイ工科大学	○	工学	「共同研究」「学生 交流」「教職員交 流」	1998年6月26日に学術交流協定を締結して以来、研究者・学生交流を実施	https://www.glocal.gifu-u.ac.jp/planning/overseas/partners/	
		ハノイ医薬保健学域連 絡事務所 (2010年2月、ハノイ)	ハノイ医科大学	○	医薬保健学	学生交流 教職員交流 共同研究	2009年9月 大学間交流協定・学生交流覚書を締結 2010年2月 ハノイ医科大学内にハノイ医薬保健学域連絡事務所を設置し、2012年から2019年まで本学教員1名を同大学研究員として派遣し、ベトナム諸機関との共同研究の拠点として利用 また、2017年10月に同大学内に日本協力事務所が設置 2019年3月 二重学位取得プログラム覚書を締結		
			ハノイ工科大学	○	全分野(特に 理工学)	学生交流 教職員交流 共同研究	2009年9月 大学間交流協定を締結		
			ベトナム金融アカデミー	○	全分野	学生交流 教職員交流 共同研究	2009年12月 大学間交流協定・学生交流覚書を締結		
			貿易大学	○	全分野	学生交流 教職員交流 共同研究	2009年12月 大学間交流協定・学生交流覚書を締結		
			ハノイ師範大学	○	全分野	学生交流 教職員交流 共同研究	2009年12月 大学間交流協定・学生交流覚書を締結		
			ハノイ大学	○	全分野	学生交流 教職員交流 共同研究	2009年12月 大学間交流協定・学生交流覚書を締結		
			ハノイ薬科大学	○	医薬保健学	学生交流 教職員交流 共同研究	2009年12月 大学間交流協定・学生交流覚書を締結		
			ハノイ運輸通信大学	○	全分野	学生交流 教職員交流 共同研究	2009年12月 大学間交流協定・学生交流覚書を締結		

日越大学間交流の状況【北部】

番号	大学名 (所在地)	ベトナム拠点名 (設置年月、所在地)	相手機関	協定の 有無	分野名	連携・協力等の 内容	実績と今後の予定等	関連HP、参考資料等	備考
11	金沢大学 (石川県金沢市)		ベトナム国家大学ハノイ校	○	全分野	学生交流 教職員交流 共同研究	2009年12月 大学間交流協定・学生交流覚書を締結	https://sgu.adm.kanazawa-u.ac.jp/international/	
			ベトナム国家農業大学	○	全分野	学生交流 教職員交流 共同研究	2009年12月 大学間交流協定・学生交流覚書を締結		
			ベトナム国家大学ハノイ校 工業技術大学	○	全分野(特に理工学)	学生交流 教職員交流 共同研究	2009年12月 大学間交流協定・学生交流覚書を締結		
			ベトナム国家大学ハノイ校 自然科学大学	○	全分野(特に理工学)	学生交流 教職員交流 共同研究	2009年12月 大学間交流協定・学生交流覚書を締結 2011年9月 二重学位取得プログラム覚書を締結		
			Hospital E 循環器病研究センター	○	医薬保健学	教職員交流 共同研究	2011年6月 部局間交流協定を締結		
			ハノイ建設大学	○	全分野	学生交流 教職員交流 共同研究	2012年3月 大学間交流協定を締結		
			ベトナム社会主義共和国資源環境省 ベトナムで米軍が使用の有毒化学物質による被害克服の国家対策委員会	○	医薬保健学	学生交流 教職員交流 共同研究	2013年3月 部局間交流協定を締結		
			ベトナム国立小児病院	○	医薬保健学	学生交流 教職員交流 共同研究	2013年4月 部局間交流協定を締結		
			トゥイーロイ大学	○	理工学	学生交流 教職員交流 共同研究	2014年10月 部局間交流協定を締結 2017年2月 学生交流覚書を締結		
			ベトナム国家大学ハノイ校 外国語大学	○	全分野	学生交流 教職員交流 共同研究	2014年4月 大学間交流協定・学生交流覚書を締結		
			ベトナム国家大学ハノイ校 日越大学	○	全分野	学生交流 教職員交流 共同研究	2019年2月 大学間交流協定・学生交流覚書を締結		
			ハイフォン医科薬科大学	○	医薬保健学	学生交流 教職員交流 共同研究	2009年12月 大学間交流協定・学生交流覚書を締結		
			タイグエン大学	○	全分野	学生交流 教職員交流 共同研究	2009年12月 大学間交流協定・学生交流覚書を締結		
			タイグエン医科薬科大学	○	医薬保健学	学生交流 教職員交流 共同研究	2009年12月 大学間交流協定・学生交流覚書を締結		
			ベトナム海洋医学研究所	○	医薬保健学	学生交流 教職員交流 共同研究	2012年5月 部局間交流協定を締結		

日越大学間交流の状況【北部】

番号	大学名 (所在地)	ベトナム拠点名 (設置年月、所在地)	相手機関	協定の 有無	分野名	連携・協力等の内 容	実績と今後の予定等	関連HP、参考資料等	備考
12	京都大学 (京都府京都市)	京都大学-ハノイ理科大学環境研究のための教育研究プログラム(地球環境学堂教育研究拠点ハノイオフィス) (2008年12月)	ハノイ理科大学(ハノイ工科大学)	○	地球環境学、工学	共同プログラム(協力事項について、学生交流、教職員交流、共同研究、共同プログラムいずれもあり。)	2007年日本側4部局・越側4部局間で学術交流協定、2008年京都大学-ハノイ理科大学環境研究のための教育研究プログラム設置、2009年大学間学術交流協定、2012年京大・地球環境学堂とHUST・INESTとの部局間学生交流協定(交流学生の授業料免除)。HUST修士・博士課程学生・若手研究者の受入および日本人学生のインターンシップ研修派遣、短期交流プログラム、国際シンポジウム等を多数開催。科学技術振興調整費・戦略的環境リーダー育成拠点形成(2008年～2012年)、文部科学省・組織的な大学院教育改革推進プログラム(2009年～2011年)、JSPS研究拠点形成事業(2013年～2015年、2016年～2018年)、概算要求機能強化経費(2015年～2021年)に採択、学生交流、研究者交流、共同研究を展開してきた。占有のオフィスおよび実験室、常駐のスタッフを配備。2016年5月3日には馳文部科学大臣が拠点訪問。今後も教育・研究活動について拠点を中心として実施予定。	https://www.ges.kyoto-u.ac.jp/	
13	立命館大学 (京都府京都市)	立命館大学ASEAN事務所(2018年3月、ハノイ貿易大学キャンパス内)	ハノイ貿易大学	○	全分野	協力協定 短期研修プログラム実施 海外事務所設置協定	2010年8月大学間協力協定(MOU)を締結 立命館大学学部生とハノイ貿易大学学部生が共同で取り組む短期海外研修(Global Fieldwork Project)を年2回、夏期と春期に実施。 2018年3月にハノイ貿易大学の協力のもと、キャンパス内に海外事務所「立命館大学ASEAN事務所」を設置、職員2名(日本人専任職員およびベトナム人職員)が常駐	https://www.ritsumeiji.ac.jp/inter national/offices/asean/	
			ベトナム国家大学ハノイ校	○	全分野	協力協定	1997年8月大学間協力協定(MOU)を締結		
			ベトナム国家大学ハノイ校・工科大学	○	全分野	協力協定	2012年3月大学間協力協定(MOU)を締結		
			ベトナム国家大学ハノイ校・人文社会科学大学	○	全分野	協力協定	2007年12月大学間協力協定(MOU)を締結		
			ハノイ工科大学	○	全分野	協力協定 研究交流	1996年5月大学間協力協定(MOU)を締結 2005年3月立命館大学総合理工学研究機構との研究交流に関する協定 2010年立命館大学情報理工学部への3年次編入に関する協定(終了)		
			ハノイ師範大学	○	全分野	協力協定 短期研修プログラム実施	2002年9月大学間協力協定(MOU)を締結 2002年9月教育交流協定(終了) 2004年5月短期教員交換(終了) 2008年12月ハノイ師範大学障害児教育学部と立命館大学応用人間科学研究科との教育実習に関する覚書(終了) 2008年12月ハノイ師範大学障害児教育学部と立命館大学社会学研究科との教育実習に関する覚書(終了) 立命館大学産業社会学部の短期海外研修「ベトナムの社会と障害者教育・福祉に関するフィールド調査研究」を実施		
			ハノイ医科大学	○	全分野	協力協定	2012年3月大学間協力協定(MOU)を締結		
			日越大学	○	理工学 生命科学	研究科間協定	2017年6月立命館大学大学院理工学研究科との大学院特別研究学生交換協定(終了) 2018年8月立命館大学大学院生命科学研究科との大学院特別研究学生交換協定(終了)		
			ベトナム教育訓練省	○	全分野	協力協定	1998年2月協力協定(MOU)を締結		

日越大学間交流の状況【北部】

番号	大学名 (所在地)	ベトナム拠点名 (設置年月、所在地)	相手機関	協定の 有無	分野名	連携・協力等の 内容	実績と今後の予定等	関連HP、参考資料等	備考
14	大阪大学 (大阪府吹田市)	大阪大学接合科学研究所ベトナムオフィス (2016年7月)	ハノイ工科大学 ベトナム科学技術アカデミー(VAST)	○	溶接・接合・材料科学	共同研究	2016年7月よりハノイ工科大学溶接・金属工学学科内にオフィスを設置。同大学機械工学部とは2013年度より学術交流協定を締結し、国際協働研究、教員・研究者の交流を活発に実施してきた。当研究所では同学科よりこれまでに4名の講師や研究者を博士後期課程留学生として受け入れている。 ベトナムにおける溶接・接合分野に関する産学連携の強化を目的とし、2018年11月にはベトナム溶接研究会を設立し、ハノイ工科大学と共にベトナムにおける日系企業及び現地企業、関連教育・研究機関との連携強化を図っている。ベトナム溶接研究会では、会長は大阪大学接合科学研究所教員、副会長はハノイ工科大学教員および日系企業社長が務めている。2018年6月に阪大とJETROが包括的連携推進協定を締結し、その一環で2019年3月にJETROハノイと共催したベトナム溶接研究会主催第1回セミナーを皮きりに、2022年末までに7回の研究会を開催した。同研究会には2022年11月現在で42社が加盟している。更に、ハノイ工科大学と連携の下、ベトナムにおける溶接技術者の育成及び溶接・接合科学研究を実施する目的でベトナムは勿論ASEANの溶接技術研究所の設置を目指し準備してきた「接合科学研究所HUST-OU」について、日本政府のご支援を頂き、2023年1月にハノイ工科大学内に設立する予定である。 ベトナム科学技術アカデミーの材料科学研究所とは2018年5月に学術交流協定を締結し、共同セミナーの開催や国際共同研究などの活動を実施している。		
		大阪大学 ASEANキャンパス(ベトナム)ジョイント・キャンパス・オフィス (2017年12月)	ベトナム科学技術アカデミー(VAST)	○	自然科学全般	共同プログラム	2000年頃から、物質科学、レーザー、バイオ、環境などの分野で、研究交流、学生交流などの交流を活発に実施してきた。2012年に、大学間学術交流協定を締結。2017年3月には、大阪大学ASEANキャンパス構想に係る連携について合意し、同年12月にジョイント・キャンパス・オフィスを共同でVAST内に開設した。VASTの傘下にある科学技術大学院大学(GUST)との共同学位プログラム、国際共同研究、学生交流を共同で実施する。また、現地における産学連携も推進し、ベトナムにおける他大学との連携のハブとなり、教育研究活動を推進している。		
		大阪大学基礎工学研究科ハノイ学術交流オフィス (2012年12月)	ベトナム科学技術アカデミー(VAST)	○			ベトナムにおける学術交流の拠点とし、ベトナム科学技術アカデミー物質科学研究所と大阪大学基礎工学研究科との教育研究交流並びに研究者、学生及び卒業生の交流に資することを目的としてベトナム科学技術アカデミー物質科学研究所に「基礎工学研究科ハノイ学術交流オフィス」を2012年12月に設置した。		
		大阪大学 ILE ハノイサテライトオフィス(2018年4月)	ベトナム科学技術アカデミー(VAST)	○	レーザー科学	共同研究	ベトナム科学技術アカデミー(VAST)に設置する阪大ASEANキャンパスのジョイント・キャンパス・オフィス開所に協力し、2018年3月にレーザー科学研究所(ILE)とVASTは部局間交流協定を締結し、同年4月に共同研究オフィスを設置した。大阪大学国際部と協力して、ILEの特任研究員を定期的にハノイオフィスに派遣して業務を行っている。2018年度もVAST側とILE側の教職員及び学生が相互に両機関を訪れ、共同研究、国際交流を実施した。今後も継続的な交流をする。		

日越大学間交流の状況【北部】

番号	大学名 (所在地)	ベトナム拠点名 (設置年月、所在地)	相手機関	協定の 有無	分野名	連携・協力等の内 容	実績と今後の予定等	関連HP、参考資料等	備考
15	大阪公立大学 (大阪市)		108軍事中央病院	○	医学	研究交流、学生交 流	博士課程の学生1名が2022年、大阪市立大学大学院医学研究科肝胆臓病態内科学を、優秀な論文を発表し卒業。 大阪公立大学大学院医学研究科眼科学に博士課程1年生の学生が1名在籍。 2019年、大阪市立大学大学院医学研究科放射線科が3名の若手のドクターを短期研修生として受け入れた。		2022年3月卒業の大阪市立大学医学研究科留学生が勤務
		ハノイ事務所 (2022.11設置、 ハノイ医科大学キャン パス内)	ハノイ医科大学	○	医学	学生交流	医学研究科肝胆臓内科と10年以上の研究交流あり。 現在に至るまでに8名の博士課程の学生受入を行った。博士課程の学生6名は、大阪市立大学大学院医学研究科肝胆臓病態内科学を卒業後、ベトナムに帰国しドクターとして、または米国でポスドクとして活躍している。現在、大阪市立大学大学院医学研究科肝胆臓病態内科学には博士課程の学生が2名在籍。 4名の大学院生を受け入れ、今後さらに交流促進を図る。 大学内に大阪公立大学ハノイ事務所を設置し、さらなる学術交流を促進する	https://www.osaka-cu.ac.jp/ia/news/2019/190520 https://www.osaka-cu.ac.jp/ia/international/news/2019/9i7hno https://www.omu.ac.jp/info/news/entry-01595.html https://www.omu.ac.jp/international/program/bases/index.html	2019年卒業の大阪市立大学医学研究科留学生が講師として勤務
			ハノイ資源地質大学地 質学部	○	理学	研究交流	2002年から隔年で、空間情報学とその活用に関する国際シンポジウム(GIS-IDEAS)を共催し、研究交流を推進 共同研究:ハノイ地域の地盤解析、ベトナム北部山地の斜面災害リスク評価など、研究成果あり 留学生:大学院生10名の受け入れ実績あり	https://gisws.media.osaka-cu.ac.jp/gisideas/	
			ハノイ交通運輸大学	○	工学 機械	共同研究	将来のスマートシティ形成展開のために自動車の自動運転に関連する国際プロジェクトを展開している教授とJTS社と連携し、共同研究。 共同研究を様々な分野に展開し、研究者、学生の交流も予定している。		
			ベトナム科学技術院	○	農学	共同研究	JSPS二国間交流事業「海藻由来多糖類の構造情報と食品、農業、薬剤への応用」に取り組んでいる。		2019—2024

日越大学間交流の状況【北部】

番号	大学名 (所在地)	ベトナム拠点名 (設置年月、所在地)	相手機関	協定の 有無	分野名	連携・協力等の 内容	実績と今後の予定等	関連HP、参考資料等	備考
			ビン大学、ビンメックヘルスケアシステム	○	医学	学生交流 研究交流	ビンメックヘルスケアシステムから100万USDルの資金提供を受け、大阪公立大学医学部、ビンメックヘルスケアシステム、ビン大学の間で、2022年から2026年の博士課程サンドイッチ・プログラムを新たに設立。大阪公立大学大学院医学研究科博士課程の学生4名（内訳：肝胆臓内科学教室2名、整形外科教室1名、臨床免疫学教室1名）が、2022年10月から2026年9月までこのプログラムに在籍する。また、2022年4月より、大阪公立大学医学研究科内にビンメックヘルスケアイノベーション研究所（Vinmec Healthcare Innovation Lab）を新たに設立した。	https://www.omu.ac.jp/info/news/entry-01595.html	
			ベトナム国家大学 ハノイ校自然科学大学	○	環境・エネルギー(低炭素)	技術協力 共同研究	NEDO国際協力プロジェクト「ベトナムにおける廃油及びJatropha油を原料としたバイオディーゼル燃料のゼロミッション製造法の確立」の実施 JST-JICA地球規模課題対応国際科学技術協力事業「ベトナムでのJatrophaの植林とバイオマスエネルギーの製造による多益性気候変動緩和策の研究」 官民の連携した取り組みによるハノイにおける畜場及び周辺地域の衛生・環境改善プロジェクトを実施	https://www.jst.go.jp/global/kadai/h2304_vietnam.html https://www.jica.go.jp/vietnam/ku57pq00000468pratt/kusanone_map.pdf	
			ベトナム国家大学ハノイ校自然科学大学とホアルー大学			・研究交流	大阪市立大学時代に研究交流あり		
			セントポール病院（ハノイ）				2017年から2020年まで、セントポール病院の13名の若手ドクターが、大阪市立大学附属病院の整形外科で2～3週間の短期研修を行った。		2017～2020年
16	奈良先端科学技術大学院大学 (奈良県生駒市)	—	ベトナム科学技術院 バイオテクノロジー研究所	○	バイオサイエンス領域	共同研究 学生交流 教職員交流	2009年5月に学術交流協定を締結し、研究者・学生交流を実施。	https://www.naist.jp/dge/engagement/list.html	
		—	ベトナム科学技術院 物質科学研究所	○	物質創成科学領域		2011年11月に学術交流協定を締結し、研究者・学生交流を実施。		
		—	ベトナム国家大学 ハノイ自然科学大学	○	情報科学領域、 +F49域、バイオサイエンス領域、物質創成科学領域、前述の3分野を含む融合領域		2011年5月に学術交流協定を締結し、研究者・学生交流を実施。		
		—	ベトナム国家大学 ハノイ工業技術大学	○	情報科学領域、 バイオサイエンス領域、物質創成科学領域、前述の3分野を含む融合領域		2012年6月に学術交流協定を締結し、研究者・学生交流を実施。		

日越大学間交流の状況【北部】

番号	大学名 (所在地)	ベトナム拠点名 (設置年月、所在地)	相手機関	協定の 有無	分野名	連携・協力等の内 容	実績と今後の予定等	関連HP、参考資料等	備考
		—	ハノイ科学技術大学	○	情報科学領域、 バイオサイエ ンス領域、物質 創成科学領域、 前述の3分野を 含む融合領域		2018年4月に学術交流協定を締結し、研究者・学生交流を実施。		
17	関西学院大学 (兵庫県西宮市)		トゥンマイ大学	○		学生交流	全学的な学生交換交流に加え、毎年2～3月に行う海外フィールドワーク(ベトナムの企業、工場、教育機関などを訪問・調査を行う約10日間の留学プログラム)の中で、本学学生が、通訳としてサポートしてくれるTMUの学生と共にハノイ・ハナム両キャンパスで過ごし、主に調査活動を通じて交流を図っている。	https://ciec.kwansei.ac.jp/abroad/program/university/001/001-010/001-009-001.html	
			貿易大学	○		学生交流	全学的な学生交換交流に加え、2019年度には海外異文化体験セミナー、2022年度には短期海外インターンシップという短期留学プログラムの中で、学生間相互交流を実施。	https://ciec.kwansei.ac.jp/abroad/program/university/001/001-010/001-009-002.html	
			ベトナム日本人材開発 インスティテュート (VJCC)	○		インターンシップ 学生交流	2016年10月にプログラム協定を締結後、国際ボランティアプログラムという留学プログラムとして、春・秋各学期に約5か月間学生を派遣し、VJCCでの業務に携わるインターンシップを実施している。2018年以降はハノイに加え、ホーチミン事務所での受け入れも開始。 ハノイ事務所は海外フィールドワークの訪問先の1つでもあり、日本語を学ぶ学生との交流を実施、またベトナムにおけるVJCCの役割などの講義を受けている。	(国際ボランティア P.15参照) https://www.kwansei.ac.jp/cms/kwansei/pdf/pr/journal/201901.pdf (海外フィールドワーク) https://www.vicchcmc.org.vn/ja/news/kwansei-gakuin-exchange-program/	
			日越大学	○		インターンシップ	2020年12月にプログラム協定を締結したものの、コロナ禍で派遣ができなかったが、2022年秋学期に学生派遣を開始し、2023年度以降も毎秋学期に学生を派遣予定。日越大学では、学部日本語プログラムの教員の下で、当プログラム在籍の現地学生と協働し、日本文化交流イベント等の企画・実施などを行っている。		